

山田方谷研究会が地域経済に果たす役割とは

難波利光（山田方谷研究会会長・下関市立大学経済学部教授）

山田方谷に関する政策は、上下節約、負債整理、藩札刷新、産業振興、民生刷新、文武奨励、軍政改革が主に挙げられる。この政策の根底には、至誠惻怛と士民撫育がある。山田方谷研究会では、これらの山田方谷の実績と精神を現代に活かし、地域経済の再生から日本経済を再生していくための施策を考えていく。特に、岡山県について注目しつつ、山田方谷が活躍した高梁市を中心に研究を行っている。

昨今、歴史に関する研究は、大学を中心に縮小傾向にある。しかし、歴史を学ぶことは、現代社会を考える上で、欠かせない要素であると考えられる。現代で起こっている問題は、急に発生した問題ではなく、地域ごとの歴史に関連しながら、起こっていることが多い。それ故、各地域や基礎自治体が、同一の課題解決方法をとったとしても、同様の結果を得ることができない。

中でも、地域経済的な問題は、経済メカニズムだけにより解明することが難しく、地域の物質的な財だけではなく、人財を分析することにより解決することが多いと考えられる。私は、これまで四十七都道府県の地域を調査してきたが、人的な地域経済への影響は、江戸時代以前からの地域問題が寄与していることが多く感じている。二百七十年ほど続いてきた江戸時代は、特に、平成最後の年となる本年から百五十年遡る

明治維新からの時間の経過よりも長く、人々の生活や思考に影響を及ぼしているといえる。

すなわち、岡山県、特に高梁市において、幕末に活躍した山田方谷は、現代における地域経済や教育に大きな影響を及ぼしており、これまで、多数の歴史的な視点から研究してこられた山田方谷研究者および山田方谷に関する活動を行ってきた団体の方々の実績を踏まえ、山田方谷研究会は、特に岡山県の地域経済を、山田方谷の偉業を活かしながら活性化させていく手段を模索していく活動を継続していきたい。これらの研究会による活動は、少子高齢社会の中で、未来を作る子ども達と、これまで地域を作ってきた高齢者の方々が、学び、仕事をしながら活躍できる地域社会を形成することを支援するために研究を深めていく。

近年、地域経済についての総務省の取組は、地域力の創造・地域の再生において、地方分権改革を行う中で、地域経済好循環推進プログラムの推進、定住自立圏構想の推進、過疎地域等条件不利地域の自立・活性化、都市から地方への移住・交流の推進、人材力の活性化・交流・ネットワークの強化、地域情報化の推進、国際交流・国際協力などの重要な課題に地方公共団体が積極的に対応していけるよう支援を行っている。特に、アベノミクスで取り上げられる地方創生のためには、地方に仕事を作り、仕事人が人を呼び、人が仕事を呼び込む地域経済の好循環を拡大することが必要であるとされている。また、地方都市において、定住自立圏構想の推進では、歴史、文化の魅力を活用して地域圏に人口定住の受け皿を形成することにも注目されている。

経済産業省では、二〇〇六年に社会人基礎力を提唱している。「社会人基礎力」とは、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の三つの能力が、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力になると考えている。これらの能力は、山田方谷が取り組んだ時代を乗り越えるための教

育にも繋がっていると思われる。教育思想は、地域経済の活性化に結びつくことから重要である。

また同省は、経営リーダー人材の育成では、企業を実際に動かすのは「人」であるといっている。特に、中長期の企業価値向上に向けた中心的役割を果たすべき、将来のCEOやCXOとなる「経営リーダー人材」の量と質をいかに高められるかは、企業の持続的成長に決定的な影響を与え、競争力を継続的に向上させられるかどうかの鍵となるといっている。また、ダイバーシティ経営の推進や第四次産業革命に対する産業人材育成については、企業の競争力向上に資することから、将来の企業経営を担う幹部候補の育成や高度な専門性を身につけてキャリアアップを図ることを促進している。

これら政府による地域経済への取組は、民間企業や個人の能力を最大限に活かしながら再生を促そうとしている。

本書の研究講演録・投稿論文では主に、山田方谷に関する取組から、産業政策、経営組織、マネジメント、教育について現代的な課題について言及している。最後の研究ノートでは、山田方谷全集による山田方谷関連文書を分かりやすく整理している。これらの研究は、山田方谷の歴史研究を現代の問題に引き寄せながら、山田方谷の考え方を継承するものになるといえる。山田方谷研究会は、地域の歴史を大切にしつつ、人生百歳時代の到来を現代人が生き抜く知恵を経営・経営・教育等を通してこれからも探究していきたい。

山田方谷研究会誌 5
現代に活かす山田方谷の思想

目次

